※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 3034 |
|---|---|

# 令和５年度　家庭科

| 教科 | 家庭 | 科目 | (学)まちづくり | 単位数 | 2単位 | 年次 | 2年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 使用なし | | | | | | |
| 副教材等 | 自作プリント | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

〇家庭科が設定した『茨木高校でしか学べない科目』。
・ヒトが人間としてよりよく生活するための基盤となる「まち」について、協力して調べ、よりよい「まちづくり」の方策を探究しよう。
・前期は、市役所の職員、一級建築士などの特別講義、フィールドワーク、研究テーマのCM制作でインプットし、後期は「調査研究・研究成果(まちの課題をみつけ課題解決のための提案をするなど、まちに貢献する)」を積極的にアウトプットしよう。
・「茨高まちづくりプロジェクト」(寒天・竹灯籠・レゴ・TFT・大豆の一生プロジェクト等)として、放課後や休日の活動も予定している年間を通じて、ボランティア活動など、まちのイベントに参画しよう。

## 2　学習の到達目標

・茨木市を中心として、よりよく生活していくための基盤となる「まち」をテーマに、あらゆる方面から情報を収集し分析する力を養い、総合的なとらえ方ができるようにする。
・あらゆる方面から探究し、地域に発信し、共に「まちづくり」を担う力を養う。
・「人と人の関わり」を実体験し、「よりよく生活する」ことがどういうことかを理解し、まちづくりを担う力を養う。
・高校で学ぶ教科学習の内容を生活の場で主体的に生かせるようにする。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 茨木市のさまざまなエキスパートに出会い、茨木市などの自治体が抱える課題を解決するために必要な知識および技能を身に付けている。また「まちづくり」に貢献できる知識・技能を持ち合わせている。 | 地域が抱える課題や自らが設定したテーマごとのプロジェクト学習を通じて、思考を深め、課題を見いだし、その解決をめざして工夫し、適切に判断し、探求する力を身に付けている。またさまざまな方法を用いて、表現する力を身に付けている。 | さまざまな地域の人と協働し、プロジェクト学習を通じて、互いの意見を尊重しながら、振りかえって改善し、優れたチームワークの意識と高い自治能力を発揮することで、地域に貢献しようと主体的に取り組んでいる。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 自分を知る | 毎授業後に、振りかえりをまとめ、提出する<br>○年間オリエンテーション<br>＊自己紹介総当たり<br>（4つのコーナー）<br>○校内探検フィールドワーク<br>・「これぞ！茨高」 風景撮影<br>○自己紹介ｽﾗｲﾄﾞ作成<br>・茨木市のひと、もの、こと<br>＊自己紹介プレゼンテーション | a: 自分を紹介するために必要なプレゼンテーション技能を身に付けている。<br>b: 自分を紹介するｽﾗｲﾄﾞの作成を通して、自らの情報を適切に選択し、表現する力を身に付けている。<br>c: 身近な人と協働し、互いを尊重し、振りかえり、主体的に取り組もうとしている。 | ﾜｰｸｼｰﾄ<br>ｽﾗｲﾄﾞ | ﾜｰｸｼｰﾄ<br>ｽﾗｲﾄﾞ<br>ﾚﾎﾟｰﾄ | 授業観察<br>振りかえり<br>自己評価<br>相互評価<br>発表 |
| | 地域を知る① | ○専門家の授業①<br>・茨木市役所職員の特別講義<br>○前期オリエンテーション<br>・仮テーマ決定 | a: 茨木市が抱える課題を知り、解決に向けて、必要な知識・技能を身に付けている。<br>b: 茨木市が抱える課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。<br>c: 茨木市の課題について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 | ﾜｰｸｼｰﾄ | ﾜｰｸｼｰﾄ<br>ﾚﾎﾟｰﾄ | 授業観察<br>ﾚﾎﾟｰﾄ<br>振りかえり<br>自己評価 |
| | | ○商店街活性化プロジェクト<br>＊商店街フィールドワーク | a: 商店街が抱える課題を知り、解決に向けて、必要な知識・技能を身に付けている。<br>b: 地域が抱える課題について考え、インタビューの内容から、活性化に向けてのアイデアを表現している。<br>c: 身近な人と協働し、チームワークの意識を発揮し、主体的に取り組もうとしている。 | ﾜｰｸｼｰﾄ | ﾜｰｸｼｰﾄ<br>ﾚﾎﾟｰﾄ | 授業観察<br>ﾚﾎﾟｰﾄ<br>振りかえり |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ○土に触れる（宙いも、大豆）<br>＊農作業体験<br>（苗植え、種蒔き） | c: 身近な人と協働し、チームワークを発揮し、主体的に取り組もうとしている。 | | | 授業観察<br>振りかえり |
| | | ○専門家の授業②<br>・「まちづくり」<br><br>○専門家の授業③<br>・「いえづくり」 | a: 都市計画における「まちづくり」、建築史における「いえづくり」について、基本的な知識を身に付けている。<br>b: 都市計画や建築物について、課題を見いだし、その解決をめざして考えている。<br>c: 身近な人と協働し、互いを尊重しながら、主体的に取り組もうとしている。 | ワークシート | ワークシート<br>レポート | 授業観察<br>レポート<br>振りかえり<br>自己評価 |
| | | ○ボランティア活動<br>＊プロジェクト学習<br>・調査研究、個人発表<br>年間で１つ以上のボランティア活動に参加する | a: ボランティア活動に必要な基本的な知識を身に付けている。<br>b:ボランティア活動を通して、課題を見いだし、その解決をめざして活動している。<br>c:ボランティア活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 | ワークシート | ワークシート<br>レポート | レポート<br>振りかえり |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 映像で表現する | ○専門家の授業④<br>・SDGs1分映像制作<br>＊映像ワークショップ<br>＊映像制作発表会<br><br>○私的マップ<br>＊フィールドワーク<br>＊私的マップ発表会<br><br>○後期オリエンテーション<br>・テーマ決定 | a: 映像制作や私的マップ゜作成について、個人やグループで設定したテーマで取材を行い、情報を収集・整理する技術を身に付けている。<br>b: 映像制作や私的マップ作成について、個人やグループで設定したテーマから、課題を見いだし、その解決をめざして考え、工夫している。<br>c: 映像制作と私的マップ作成に関心をもち、身近な人と協働し、互いを尊重しながら、主体的に振りかえり、取り組もうとしている。 | 映像作品<br>私的マップ | 映像作品<br>私的マップ<br>レポート<br>ワークシート | 授業観察<br>自己評価<br>相互評価<br>レポート<br>振りかえり<br>発表 |
| 後期 | 地域を知る② | ○土に触れる（宙いも、大豆）<br>＊農作業体験<br>（宙いも、大豆の収穫） | c: 身近な人と協働し、チームワークを発揮し、主体的に取り組もうとしている。 | | | 授業観察<br>振りかえり |
| | | ○いばらきイルミフェスタ灯<br>＊イルミネーション設営、撤収 | c: イルミネーションの設営に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 | | | 授業観察<br>振りかえり |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | テーマを探究する・引き継ぐ | ○プロジェクト学習、探究活動<br>＊フィールドワーク<br>＊調べ学習<br><br>＊調査研究発表会 | a: 地域での活動や個人で設定した課題について、情報を収集・整理する技術を身に付けている。また調査研究を通して、自分たちの役割を認識するための知識を身に付けている。<br>b: 地域での活動や個人で設定したプロジェクトから課題を見いだし、その解決をめざして、何ができるのか考え、工夫している。<br>c: 地域の活動や個人で設定したプロジェクト学習の調査研究について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 | ｽﾗｲﾄﾞ<br>ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ<br>ﾜｰｸｼｰﾄ | ｽﾗｲﾄﾞ<br>ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ<br>ﾜｰｸｼｰﾄ | 授業観察<br>振りかえり<br>自己評価<br>相互評価<br>発表 |

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度